

札幌市の いじめの防止に 向けた**取組**について



令和6年度札幌市総合教育会議
令和7年3月4日
札幌市教育委員会

札幌市いじめの防止等のための基本的な方針の改定

令和6年4月

札幌市いじめの防止等のための基本的な方針 改定

①いじめの防止等のために札幌市が実施している取組

全ての児童生徒がいじめに向かうことがないようにするためには、学校の教育相談体制の充実を図るとともに、学校と家庭、地域住民、その他あらゆる関係者と連携しながら、いじめの防止、早期発見、対処をおこなうことが必要である。

ポイント チーム学校としてのいじめの防止対策の徹底

②いじめの防止等のために学校が実施している取組

いじめの防止等に向けた取組に当たっては、いじめを生まない対人関係づくりに向けた教育活動を推進していくことが必要である。また、「いじめる子ども」「いじめられる子ども」「はやし立てる子ども」「知らぬふりをして見ている子ども」など、すべての立場の児童生徒を対象とした指導が重要である。

ポイント チーム学校による組織的な対応の徹底

①いじめの防止等のための札幌市の取組

(1)いじめの防止に関すること	・全教職員の経験年数に応じた研修の全てにおいて「いじめ・自殺予防に係る研修」を系統的に実施
(2)いじめの早期発見・いじめへの対処に関すること	・SCの小学校配置時数を増加 (年間1校あたり69時間⇒140時間) ・SSWを職員として雇用し、学校ごとに担当を配置 ・心の健康観察アプリの導入 毎日の心と体の健康状態の入力 相談しやすい環境の整備
(3)いじめの防止等に関係する機関との連携	・札幌市いじめ対策連絡協議会の開催 年に2回開催し、関係機関との連携強化 (昨年度までは、1年に1回開催) ・いじめに係る研究開発事業の実施 心理や法律の専門家を加えた研究開発事業 ①心の健康観察アプリの効果的な活用 ②いじめ加害者への指導プログラムの検討
(4)いじめの防止対策を徹底するための教育委員会と学校の連携	・いじめの認知・解消の件数等について、定期的に学校から報告を受ける他、学校いじめ対策組織の開催予定日、アンケート調査・校内研修等の実施時期等についても把握し、指導・助言・支援を行う。
(5)再発防止策の検証	・学校及び教育委員会の取組状況を札幌市児童等に関する重大事態調査検討委員会(札幌市附属機関)に定期的に報告し、再発防止の取組について検証し、必要な改善を図る

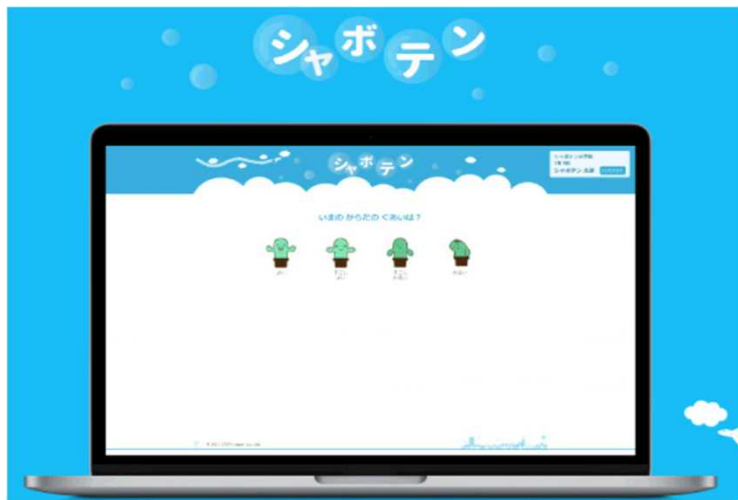
①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

心の健康観察アプリ「シャボテンログ」

自己管理能力

- ◆子ども自ら自分の心と体の状態を把握
- ◆子ども自身が心の状態を振り返り自分について理解を深めていく



子どもの困りや悩みの早期発見

- ◆教職員が子どもの変化に気づき、子どもとのコミュニケーションの機会をもつこと
- ◆子どもの困りや悩みを早期発見し対応すること



①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

心の健康観察アプリ「シャボテンログ」

心と体の状態 入力

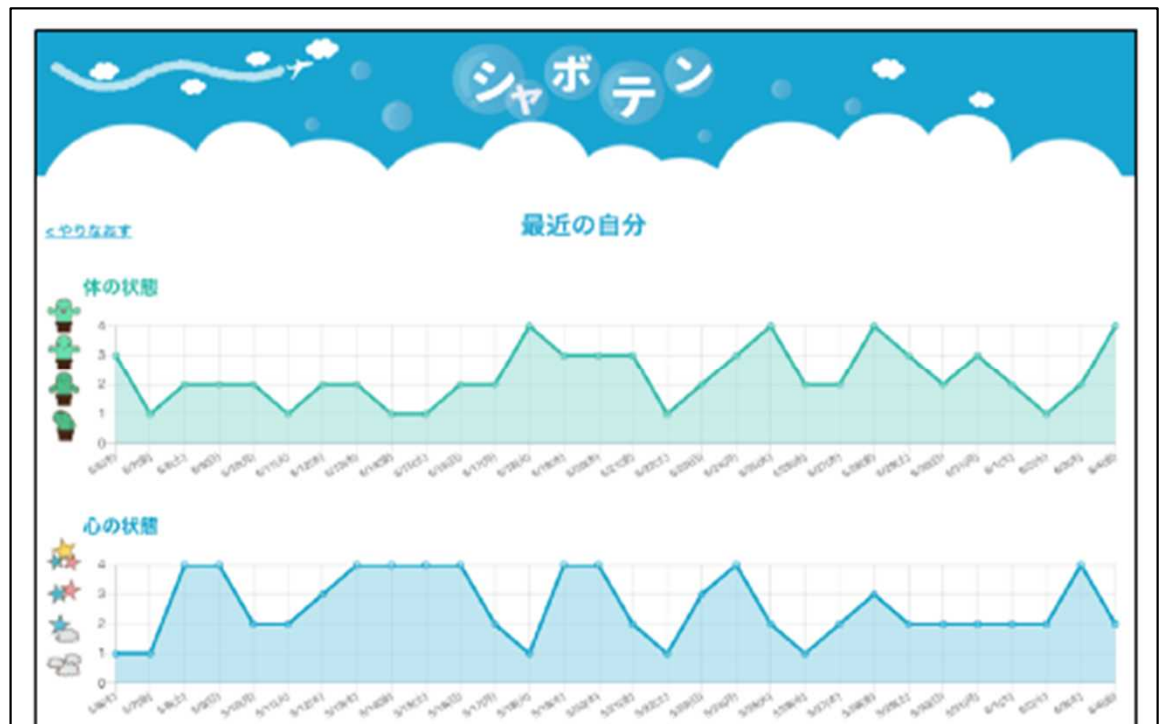
いまのからだのぐあいは？

よい すこしよい すこしわるい わるい

いまのきぶんは？

よい すこしよい すこしわるい わるい

心と体の状態 グラフ化



グラフの変化から、本人の状態を把握

①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

心の健康観察アプリ「シャボテンログ」

相談しやすい環境

◆話したいボタン◆

子どもが困りや悩みなどを教職員に相談したい時に、教職員を選び相談を希望することができるボタン

校長先生

担任の先生

教頭先生

保健室の先生

学年の先生

SC

設定は各学校でカスタマイズ可能

教職員からの声かけ

教師用管理画面



注目		心	体	話
	1番 谷山 大三郎	×	▲	
	2番 佐藤 太郎			
	3番 田中 二郎	▲		
	4番 山田 一郎			

アイコンが表示された子どもには、相談したいと指定された先生から積極的に声をかけることができる。

①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

心の健康観察アプリ「シャボテンログ」

子どもからの声

- ◆ 毎日の健康観察を入力しているだけで先生方が自分を見てくれているという安心感がある。
- ◆ 進路に悩んでいることを自分から言えずにいたことから、相談ボタンを押すことで相談につながり話をすることができた。
- ◆ (相談の際に) ボタンを押すだけで相談できるので、前よりも自分の気持ちを話せるようになった。

保護者の方からの声

- ◆ 子どもたちが気軽に相談でき、気持ちを伝えることができるのがよいと感じた。
- ◆ 先生に直接伝えることが恥ずかしかったり、言いにくかったりする子にとってありがたいシステムであると感じた。
- ◆ アプリがあることで「大人は相談にのる体制ができている」ということが子どもたちに伝わっている。

①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

心の健康観察アプリ「シャボテンログ」

教職員からの声

- ◆ 声をあげられない子に、こちらから声をかけるきっかけとすることができるので助かっている。
- ◆ 日々の健康観察などの入力結果に基づいて、担任や担任以外の職員が情報を共有したり、子どものことを話題にしたりすることが増えた。
- ◆ 子どもによって入力・回答の基準が違うことから、子ども一人一人の中での変化を職員が見取ることが大切であると感じた。

成果

- ・ 子ども自身が心や体の状態に気付く力の高まり
- ・ SOSを出しやすい環境づくりの向上
- ・ いじめの発見及び対処の早期化

課題

- ・ 定着してきたアプリの更なる効果的な活用方法
- ・ スクールカウンセラーを加えた重層的な相談体制の一層の充実

①いじめの防止等のための札幌市の取組

いじめの早期発見について

地域・保護者との連携

相談窓口周知カード

小4以上の全児童生徒に配布

いじめのサイン チェックポイント

いじめのサイン チェックポイント

気になる様子が見られるときは、
大人も子どもも学校に相談してください。

本人の様子

- ☐ 元気がなく落ち込んでいる
- ☐ 表情が暗く、硬い
- ☐ 沈み込んだり泣いたり情緒不安定
- ☐ 登校を嫌がるそぶりが見られる
- ☐ 傷やあざ、鼻血を出した跡がある
- ☐ 大人に何かを訴えたような態度
- ☐ 服が汚れたり破れたりしている
- ☐ 朝、腹痛や頭痛を訴え登校を渋る
- ☐ 必要以上のお金を欲しがる
- ☐ 食欲がなくなる
- ☐ 寝付きが悪くなったり、寝不足が頻回に繰り返す

友達と関わる様子

- ☐ 仲間に入れず一人でぼつんとしている
- ☐ 他の子どもに冷やかされたり、悪口を言われたりする様子が見られる
- ☐ 他の子どもに指示されたり、威嚇されたりする様子が見られる
- ☐ おに遊びで常におにになるなど、遊びの中で不自然な状況が見られる
- ☐ 集団内での人間関係が見られる

子どもたちをたくさん目で見守ることで、変化にいち早く気づき、不安や悩みを解消につなげましょう。

多様な相談窓口の紹介

あなたの相談先は？

- 子どものアシストセンター
TEL: 0120-66-3783 (通話無料)
メール: assist@city.sapporo.jp
- 虐待対応ダイヤル (通話無料)
TEL: 011-281-8110
- 札幌弁護士会子どもの権利110番
TEL: 011-281-8110
- 性暴力被害者支援センター
北海道SACRACH (さくら)
TEL: 0120-8891-77 (通話無料)
TEL: 011-281-8110 (相談窓口)
メール: sacrach20191101@leaf.ocn.ne.jp
- 体罰・性被害相談窓口
TEL: 011-272-6034
メール: taibetsu.saihiga@city.sapporo.jp
- 親子のための相談LINE

安心して相談を

【相談窓口周知カード】

あなたは、かけがえのない大切な存在です。
自分のことや友達のこと、心配なことがあったら、一人で抱え込まないで相談してください。
家族や友人、先生、スクールカウンセラーはもちろんのこと、学校以外にもあなたをサポートしてくれる相談先があります。多くの大人をぜひ頼ってください。

あなたの相談先は？

- いじめ電話相談 (少年相談室)
TEL: 0120-127-830 (通話無料)
- 24時間子供SOSダイヤル
TEL: 0120-0-78310 (通話無料)

札幌市教育委員会

いじめのサインチェックシート

家庭・地域へ配付

いじめのサインチェックシート SAPP_RO

あれ？もしかして、いじめかも…

校区の学校へご相談を！

子どもから言葉では伝えられなくても、「いじめ」があれば毎日の生活の中にもいろいろな変化や態度、行動などが現れます。たくさん目で見守ることで、子どもの小さな変化にいち早く気づき、不安や悩みを取り除くことができますよう、ご協力をお願いします。

本人の様子	友達と関わる様子
☐ 元気がなく落ち込んでいる	☐ 仲間に入れず一人でぼつんとしている
☐ 表情が暗く、硬い	☐ 他の子どもに冷やかされたり、悪口を言われたりする様子が見られる
☐ 沈み込んだり泣いたり情緒不安定	☐ 他の子どもに指示されたり、威嚇されたりする様子が見られる
☐ 登校を嫌がるそぶりが見られる	☐ おに遊びで常におにになるなど、遊びの中で不自然な状況が見られる
☐ 傷やあざ、鼻血を出した跡がある	☐ 集団内での人間関係が見られる
☐ 大人に何かを訴えたような態度をとる	
☐ 服が汚れたり破れたりしている	

家庭で

本人の様子	友達と関わる様子
☐ 朝、腹痛や頭痛を訴え登校を渋る	☐ 自分や仲間に関心を持ち、遊びに行かなくなる
☐ 必要以上のお金を欲しがる	☐ 学校や友達のことを話したくない
☐ 食欲がなくなる	☐ 些細なことでもイライラしたり、物に当たったりする
☐ 寝付きが悪くなったり、寝不足が頻回に繰り返す	☐ 突然連絡が断れて外出する

札幌市教育委員会

家庭や地域で見られるいじめのサインインを具体的に例示して、子どもの小さな変化にいち早く気づき、早期の相談に繋げる。

- いじめのサインを具体的に例示して、学校への早期の相談を促す。
- 学校や家庭以外にも様々な相談先があることの周知。

放課後や休日に子どもが活動する施設等に配付して情報を共有するなど
学校と家庭や地域、関係機関が一体となっていじめに対処する仕組みづくり

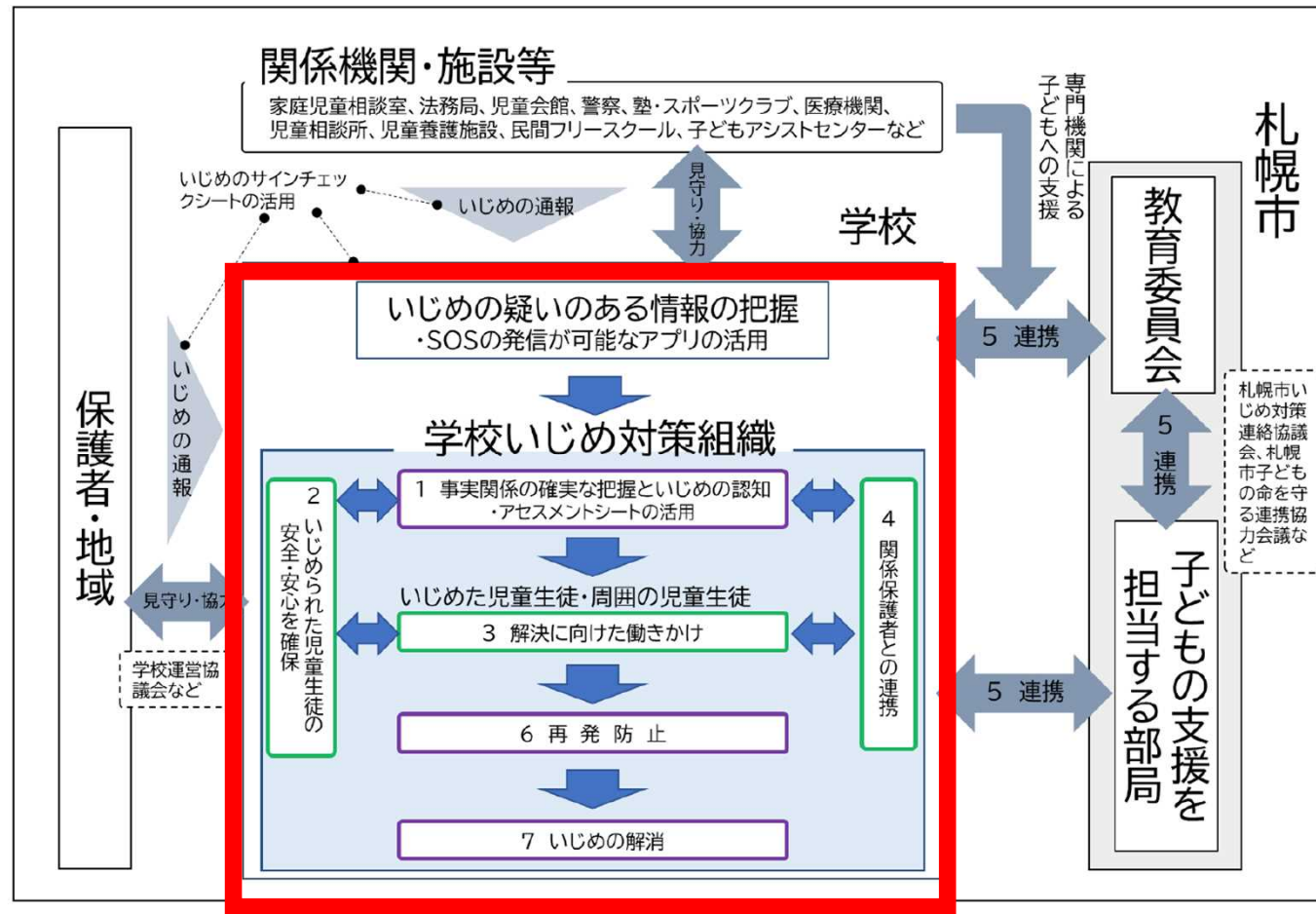
②いじめの防止等のための**学校**の取組

(1)学校いじめ防止基本方針の策定	・市の方針の改定に合わせて、各学校のいじめ防止基本方針を改定し、学校HPへ掲載する。
(2)学校いじめ対策組織の設置	・組織の責任者は校長とする。 ・いじめ防止等の全ての取組は、校長の監督の下で行う。 ・養護教諭、SC、SSWを必須構成員とする。 ・定例の会議を月1回開催することを必須とする。 ・いじめアンケート実施後は、必ず会議を開催する。
(3)いじめの未然防止	・全ての教職員が「いじめは絶対に許されない」と姿勢で対応 ・SC、SSW、養護教諭と連携した校内研修会の実施 ・いじめの未然防止に係る自治的な活動を通して、互いを認め合う人間関係を育む。
(4)いじめの早期発見	・教職員からの声かけ。 ・多様な相談窓口の周知（相談窓口周知カードの配付） ・ICTを活用した児童生徒の見守り。
(5)家庭・地域との連携	・学校のいじめに関する取組（会議開催予定日、アンケート調査、未然防止教育の取組等）を保護者や地域と共有し、社会総がかりで取り組む。
(6)いじめへの対処	・いじめの疑いを把握した場合には、速やかに対応方針を検討し、安全・安心を確保する。
(7)いじめの見逃しや一部の教職員による抱え込みを防ぐための取組	・いじめの認知及び解消は、学級担任などの個人に委ねず、学校いじめ対策組織で判断することを徹底する。 ・いじめに関する情報は、ささいな兆候や懸念、子どもからの訴えを抱え込まず、ICTも活用し、学校いじめ対策組織において集約・共有する。
(8)個別の対応状況に関する記録及び引継ぎ	・いじめに係る記録は、進級・進学や転学に当たり、次の学年・学校に確実に引継ぎ、指導や支援につなげることを徹底する。

②いじめの防止等のための学校の取組

学校いじめ対策組織の設置について

◆学校いじめ対策組織(常設)◆



学校いじめ防止基本方針に基づいた
組織的な対応の徹底

②いじめの防止等のための学校の取組

学校いじめ対策組織の設置について

◆学校いじめ対策組織(常設)◆

成果

- ・月に1回の定例会議がいじめ対応に有効
- ・各事案の対応状況を随時確認が可能
- ・SCやSSWによる対応への助言の効果
- ・教職員の意識向上「いじめ見逃しゼロ」
- ・教職員がいじめに関する事案を抱え込まず、本会議にかけるなど、相談がしやすい状況

課題

- ・SCの個別カウンセリング等の相談時間と学校いじめ対策会議等への参加時間の確保
- ・SCやSSWの定例・臨時会議への参加に関わる調整
- ・持続可能な臨時会議の開催のあり方
- ・子どもからの相談に対応するための十分な時間の確保

②いじめの防止等のための学校の取組

いじめの未然防止

札幌市学校教育の基盤 人間尊重の教育

人間尊重の精神は、生命の尊重、人格の尊重、基本的人権、人間愛などの根底を貫く国境や文化なども超えた普遍的な精神です。人間尊重の精神を醸成する「人間尊重の教育」を、子どもの学びや成長を支える札幌市学校教育の『基盤』として位置付けます。

「人間尊重の教育」の推進に当たっては、学校全体で「学習活動づくり」、「人間関係づくり」、「環境づくり」を相互に関連させて取り組み、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりを進めます。



「人間尊重の教育」の推進に向けた

三つの視点

視点1 教職員自らの人間尊重の意識の向上

「子ども一人一人と家族を大切にする。」「教職員一人一人と家族を大切にする。」という広い視野をもち、同僚性を発揮しながら、様々な人権課題に向き合っていく中で、教職員自らが相互承認の感度を高めていきます。

視点2 校種間の連携による連続性のある人間尊重の教育に向けた取組の推進

学校と家庭が地域を基盤としながら、さっぽろっ子「学び」のススメが示している、促す、認める、支える関わりを実践し、子どもの自尊感情と他人を思いやる心や生命を尊重する心を醸成します。

視点3 子ども自身が自分を振り返り、人間尊重の意識の高まりに気付く手立ての構築

多様な体験活動を通して、人や社会、自然、環境とのつながりをもてる機会の充実を図り、子ども一人一人が自分のよさや可能性を実感できる取組を推進します。

②いじめの防止等のための学校の取組

いじめの未然防止

「学ぶ力」の育成

さっぽろっ子自治的な活動

「子どもが『～したい』という意欲をもち、よりよい方法を考えて動き、集団づくりや社会への参画を通して、変化を生み出した喜びを手応えとして心に残すという主体的な活動」

さっぽろっ子自治的な活動のよりどころ ～さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」～

札幌市では、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに向けて、全市共通の子どもの合言葉となる「さっぽろっ子宣言『プラスのまほう』」を子どもの手によって創り上げました。(令和4年度策定)

「プラスのまほう」には、前向きに考え、互いを大切にして、個性を認め合い、笑顔があふれるようにという子どもたちの思いや願いが込められており、**自治的な活動を推進していくためのよりどころ**となります。



◆さっぽろっ子自治的な活動◆

- ・自分たちの意思を実現する
- ・自分たちの問題を自分たちで解決する
- ・自分たちの行動に責任をもつ
- ・一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる

「さっぽろっ子自治的な活動」の経緯

令和4年度



1人1台端末を活用し
全市の子どもの声を聴く

令和5年度

「プラスのまほう」に基づく 自治的な活動の推進



自治的な活動
取組報告書

次年度に
つなげたい
自治的な活動賞

高校生
アドバイザー
の関わり

令和6年度

さっぽろっ子サミットの開催



全市一体となった
子どもの取組

②いじめの防止等のための学校の取組

いじめの未然防止

「学ぶ力」の育成

さっぽろっ子サミット

企画・運営の主体を、子ども運営委員会の子どもたちが担い、全市の子どもたちが一つのテーマについて話し合う場。

さっぽろっ子サミットは、一人一人の「**子どもの声を聴く**」ことを大切にします。1人1台端末等も活用しながら、全ての子どもが意見を述べるができる仕組みを整えています。さっぽろっ子サミットに参加する子どもは、自校またはパートナー校の子どもの思いや願いを届けたり、取組を伝えたりしながら話し合いを進めます。子どもの声を「聴くこと」と「応える」ことを大切にしながら、**子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり**について、子どもと大人が一緒に考えることをねらいとして行っています。

第1回 さっぽろっ子サミット概要

テーマ 「みんなの笑顔があふれる楽しい学校へ～わたしたちができること～」

【日 時】令和6年9月5日(木)14:30～16:30

【場 所】札幌コンベンションセンター大ホール

【参加者】各中学校から参加する代表生徒（200名程度）
中学生の協議を支える高校生（40名程度）
引率教員（100名程度）

【協議内容】テーマに基づき中学生によるグループ協議

※グループ協議における各グループの司会は市立高校の高校生

- ① いじめやけんかを防ぐために大切なことは？
- ② ①を実現するために私たちの学校でできることは？
- ③ 「楽しい学校」をつくるために、みんなでやっていきたい前向きな取組は？



②いじめの防止等のための学校の取組

いじめの未然防止

全国いじめ問題子供サミット(文部科学省主催)

全国の小・中学生が文部科学省に集い、各地域の取組をポスターセッションで発表したり、各年度ごとに一つのテーマについてグループ協議に取り組むなどして、交流する機会を設けることにより、リーダーを育成するとともに全国各地で創意工夫を凝らした多様な取組を一層推進することを目的とした取組。



年度	テーマ	札幌市参加校
令和元年度	私たちが考える「令和の時代のいじめ対策」	西陵中
令和2年度	「いじめ」って何?～私たちが考える「いじめ」について知らなきゃいけないこと～	参加せず
令和3年度	コロナ禍の学校生活で、私たちが感じた想い	中の島中
令和4年度	いじめを絶対に許さない ～いじめをなくしていくために私たちにできること～	北栄中
令和5年度	「いじめはしない」という感覚を身に付ける	日章中
令和6年度	「いじめを生まない環境づくり」 ～私たちの視点から学校内・学校外で何ができるか～	西野中

札幌市が目指すいじめ防止のビジョン

○いじめは、相手の人間性とその尊厳を踏みにじる「人権侵害行為」で許されるものではない。

○いじめは**どの子どもにも、どの学校でも起こり得る**ものである。

学校・家庭・地域が一体となって、社会総がかかりでいじめを生まない土壌を作っていく必要がある。

子どもたちが自治的な活動を通して、いじめの問題について主体的に考えることが重要である。

札幌市全体で重層的・包括的な支援を行うべく連携を図り、いじめ防止等の対策を進める必要がある。

学校・家庭・地域総ぐるみで
いじめは「しない・させない・許さない」を徹底